



T1リノベーションの全体概要

基本コンセプト

～ KIX Terminal 1の再設計～



国際線
キャパシティ拡大

エアサイドエリア
の充実

旅客体験の向上

- 国際線/国内線エリア配置の見直し
- 国際諸施設の中央集約化
- ファストトラベルの推進
- ランドサイド/エアサイド比率の見直し
- 商業エリアの充実
- 旅客動線の見直し
- ユニバーサルデザイン
- 天井、エスカレータ等の耐震補強

T1リノベーションを中心に、関西国際空港全体で約4,000万人の国際線キャパシティを創出

平成6（1994）年9月4日に開港した関西国際空港は、今年で開港30周年を迎えました！
関西国際空港では現在、T1（第1ターミナルビル）のリノベーション工事を進めています。今回は、その概要についてご紹介します。

Thank you, Anniversary
30th | KIX

関西国際空港は
開港30周年を迎えました

T1（第1ターミナルビル）リノベーションスケジュール



広告

大阪・関西万博に向けた情報発信ブースを設置！

関西国際空港では、来年に開催を控えた大阪・関西万博に向けて、第1ターミナルビルの1階到着フロアに2つの情報発信ブースを設置しています。国内外のお客さまを迎える関西のゲートウェイとして、大阪・関西万博の機運をより高めるとともに、地域の魅力や関西国際空港の取り組みを発信します。

● 関西国際空港での環境取り組み紹介ブース

「いのちかがやく未来社会のデザイン」がテーマである大阪・関西万博に向けて、海上空港である関西国際空港が自然と調和するための取り組みを発信するブース

● 大阪・関西万博に向けた観光PRブース

大阪・関西万博への機運を高めながら関西を始めとする西日本各地への広域周遊観光を促進する観光PRブース



©Kansai Airports SORAYAN